

チャペル週報

No.19

2014.10.20～10.24

主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

詩編23編2～3節



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

10月20日(月)神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル> 福島 旭 (中学部宗教主事)
経 大学での学びPart4 ① (10/6台風休講代替) 利 光 強 (経済学部長)
人 永 田 雄次郎 (文学部教授)
聖 聖書物語 山の上でなされたお話
和 理 バロックアンサンブル

10月21日(火)ランパスチャペルアワー ランパス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
神 ランパスチャペルアワーに合流
文 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
社 上ヶ原ハピタット
法 ランパスチャペルアワーに合流
経 学生生活オリエンテーションPart2 (追加①)
商 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖 永 田 雄次郎 (文学部教授)
和 総 テュアン・シャンカイ (総合政策学部3年)

10月22日(水)神 田 村 久瑠美 (神学研究科M1)
社 「孤独」について⑦ Hans Peter Liederbach (社会学部教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 福 井 幸 男 (商学部教授)
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 神 余 隆 博 (副学長・国際連携機構長)
聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
和 理 前 川 裕 (宗教主事)
総 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

10月23日(木)神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル> 塚本 真理 (中学部教諭)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 「孤独」について⑧ 【メッセージ】 徳田 真二 (総合支援センター課長)
【演奏】 応援団総部吹奏楽部有志

法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 学生生活オリエンテーションPart2 (追加②)
商 永 田 修 一 (商学部助教)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖 ニュートン先生とベーツ先生 池 田 裕 子 (学院史編纂室)
和 総 李 政 元 (総合政策学部教授)

10月24日(金)院 テュアン・シャンカイ (総合政策学部3年)
神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 UNHCR難民映画祭を覚えて 舟 木 謙 (宗教主事)
人 広 瀬 康 夫 (グリークラブ技術顧問)
聖 和 自然の中でのゼミ合宿 前田ゼミ
理 ゴスペルクワイア P.O.V.

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂 (上ヶ原)
10月24日(金) 法学部のために 原田 剛 (副学部長)

障がいのある学生を支援するのは誰か

徳 田 真 二

本学の大学生・大学院生の中には、障がいのため授業・試験等で配慮を必要とする学生が56名在籍しています(2014年10月現在)。その他医師の診断書はないが、支援の必要な学生が2名在籍しています。「障がい」には視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱・虚弱、発達障害、精神障害があります。

日本の大学における障がい学生数は、2005年度は4,891名でしたが、2013年度には13,449名となっています(日本学生支援機構調査より)。特徴として、発達障害、精神障害、病弱・虚弱の学生数の増加が著しく、本学の在籍状況を見ても同様の傾向が見られます。

障がいのある学生が、障がいのない人と同じ学ぶ権利を保障することが大学としての責務です。そのため支援の制度として例えば、「聴覚障害」の学生には、支援学生によるパソコンテイクや筆記によって授業の情報保障をしたり、映像資料には文字起こしや字幕付を行っています。その他障がいの種類に応じて様々な支援を準備しています。また授業を担当する先生に対しては、各学部から障がい学生の修学上の困難な面を「配慮文」としてお知らせし、理解と協力をお願いしています。

近年増加の著しい「発達障害」の「困り」の一つには他人との意思や情緒の疎通など、コミュニケーションの難しさが挙げられます。現代はコミュニケーションにおいて高度な「気づき」の能力が必要とされている時代です。コミュニケーションにおける気づきは、言語化されていない想いや人の気持ちを、言葉の行間や微妙な表情・仕草から察しなければなりません。発達障害の人の中にはこの高度な「気づき」能力が著しく阻害されている人々がいます。また、発達障害にはこのようなコミュニケーションに困難を抱えるASD(自閉症スペクトラム)の他にADHD(注意欠陥多動性障害)やLD(学習障害)があります。専門のスタッフを配置し、支援制度を充実することが必要です。

障がいのある人に接する時、イエス・キリストの生き方を倣うことが大切だと思います。聖書にはイエスが汚れた霊に取りつかれた男を癒したり、病人を癒したりと多くの奇跡を行っていますが、イエスはその人と「向き合っている」ことに気づかれます。向き合うとは差別をしないということです。

大学の支援制度や社会の支援の枠組みだけでは差別をなくすことはできません。教職員・学生が一緒になって支え合い、気づき、共に学ぼうとすることが大切です。

障がいがあっても、支援申請をせず自分の努力で大学生活をおくっている学生も多数在籍しています。多くの留学生を迎えグローバルな大学として垣根のない互いに助け合う「こころ」と「気づき」を私たち一人ひとりが持ちたいと願っています。

*「障害」表記は、障害名や固有名では「害」を、その他は「がい」と表記しています。

(学生活動支援機構総合支援センター課長)

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月21日(火)「バプテスマはひとつ」

11月18日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50～18:20 1405教室)

主題:「関西学院創立125周年を覚えて」

10/23(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

10/30(木) 山本俊正 (院長補佐)

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第2回 11月6日(木) 18:30～20:00

第3回 1月8日(木) 18:30～20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協力:関西学院宗教活動委員会

●2014年度大学主催秋季人権問題講演会の開催について

総合テーマ: Culture of Human Rights — 人権文化を育む (2010年度～2014年度)

1. 映画上映「SAYAMA: みえない手錠をはずすまで」

上映日時・場所:

11月10日(月)①10:35～12:40

会場: 神戸三田キャンパス II号館102号教室

11月11日(火)②11:10～13:10、③13:30～15:30

会場: 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「風の間」

11月12日(水)④10:35～12:40

会場: 西宮聖和キャンパス 6号館611教室

11月13日(木)⑤10:35～12:40

会場: 西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

11月13日(木)⑥15:10～16:40

会場: 西宮聖和キャンパス 6号館631教室

(⑥は上記④⑤で2時間目に離席した人のため、上映15分経過後から放映する)

*各回とも、さやま事件の説明時にはパソコンテイクを、映画放映中は字幕を投影します。

<パネル展示>

○「さやま事件」とは(パネル30枚)

11月4日(火)～14日(金)

・西宮上ヶ原キャンパス 図書館エントランスホール

・西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペルの入り口 2か所

●リトリート at 千刈 ～テゼ共同体のブラザーを迎えて～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き: 11月29日(土)～30日(日)

と ころ: 関西学院千刈キャンプ

主 催: 関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ: 宗教センター(吉岡記念館事務室)